

登録有形文化財
よし梅 芳町亭

江戸唄とひとり芝居で綴る

「にごりえ」 の世界

唄と三味線 西松布咏 芝居と脚本 奥山真佐子

2017年6月17日(土)

第一部

13時30分開演

12時30分開場(食事12時開始)

鑑賞のみ 5000円

懐石弁当付き 10000円

第二部

17時開演

16時開場(食事18時30分開始)

鑑賞のみ 5000円

懐石コース付き 16000円

江戸唄とひとり芝居で綴る「にぎりえ」の世界

西松布咏さんが唄う新内小唄の「にぎりえ」を聴いたときに、唄い出しから心をつかまれました。切なく苦しかったお力の、強気や邪険な態度の裏の、心の声が聞こえてきたようで、女の一生を数多く唄ってきた西松布咏さんの真骨頂を感じたものです。今回は樋口一葉の作品に長く取り組んでこられた女優・奥山真佐子さんが、この日のために脚本を書きおろしていただき、唄とひとり芝居で、名作「にぎりえ」の世界を深く味わっていただけたと思います

「にぎりえ」 樋口一葉

1896年24歳という若さで逝去した日本初の女性職業作家・樋口一葉が、23歳で書きおろした作品。銘酒屋「菊の井」の一枚看板の酌婦・お力の馴染み客の源七は、全財産をお力につき込み、零落して、女房のお初と息子の太吉と貧乏長屋で暮らしている。一方、お力は、雨の日に店を訪れた結城朝之助と深い仲に。盆の16日、心の乱れるお力は、子ども時代の辛い思い出を朝之助に語る。次の日、偶然出会った太吉にお力が買い与えたカステラが原因となり、お初は太吉を連れて家を出る。ひとり残された源七は、風呂帰りのお力を待ち伏せして……
(構成 奥山真佐子)

西松布咏 (にしまつ ふえい)

邦楽「美紗の会」「粋艶会」主宰。6歳より長唄、三味線の手ほどきを受け、小唄、富本節、端唄、俗曲、新内、及び作詞作曲を修行。1981年 地唄の名人・西松文一師に師事。1990年に布咏の名で西松流を継承。古典邦楽の普及に努めると同時に、欧米、アジア各国など海外でも精力的に演奏会を開催し、好評を博している。また、異ジャンルの音楽や詩、美術との融合に挑み、新たな可能性を探る「ニュアンスの会」を主宰している
ウェブサイト <http://www.misanokai.com>



奥山真佐子 (おくやま まさこ)

マキノ雅弘、山田五十鈴、金子信雄・丹阿弥谷津子に師事。NHK大河ドラマ「武田信玄」、朝の連続テレビ小説「あぐり」、黒澤明監督「まあだだよ」などに出演。舞台「生きてゆく私」で、御園座社長賞(演技賞)受賞。処女脚本『私達はどのようにして生まれてきたの』で、文部省選定受賞。NHK「花子とアン」「とと姉ちゃん」などの山梨ことば指導を担当。2016年三越劇場一葉没後120年記念で行われた、ひとり芝居連続公演で、多大な好評を得る
ウェブサイト <http://www.okuyama104.com>



日時 2017年6月17日(土)

第一部 懐石弁当付き 10,000円(定員12名)
鑑賞のみ 5,000円(定員20名)
12:00 食事開始(弁当付きの席のみ)
12:30 開場 13:30 開演

第二部 懐石コース付き 16,000円(定員24名)
鑑賞のみ 5,000円(定員10名)
16:00 開場 17:00 開演 18:30 食事

登録有形文化財 よし梅芳町亭

関東大震災直後に建てられた、戦前の数寄屋造り。芸者から女優になった花柳小菊が住んでいた時期もあり、屋久杉の天井や、樹齢500年の天然秋田杉の板戸など、現在は難しい資材を、贅沢に使い、登録有形文化財に指定されている



ご鑑賞のお申し込みは、よし梅本店 03-3668-4069(平日11:00~21:00対応)にて電話受付をいたします。各回のお食事付きのお席は限りがございます。ご了承くださいませ。お飲み物は別会計です。第二部のお食事は、名物のねぎま汁を含む、季節の懐石料理を予定しております。イベントにつき、個室でのご案内はいたしかねます。中学生未満のお子様はご遠慮いただいております

※各回ともご希望のお客様には建物の解説・ご案内をいたします。開演30分前までにお越しください。
※お食事のお飲み物は別会計となります。
※中学生未満のお子様のご来店はご遠慮いただいております。

登録有形文化財

よし梅 芳町亭

中央区日本橋人形町1-5-2
電話 03-5623-4422

東京メトロ日比谷線・都営浅草線 人形町駅下車 徒歩2分
東京メトロ半蔵門線 水天宮前駅 徒歩6分



よし梅のFacebookにて
本公演の予約案内を含む最新情報をご覧いただけます

<http://www.yoshiume.jp>

